



ROCK FIELD report

第36期のご報告

平成19年5月1日～平成20年4月30日

ROCK FIELD CO., LTD.

証券コード：2910

株主の皆様へ

SOZAIオンリーワン企業を目指して

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成20年4月30日をもちまして、当社第36期事業年度を終了いたしましたので事業の概況についてご報告申し上げます。



平成20年7月 代表取締役社長 岩田弘三

■当期の概況について

食の「安心・安全」への関心が高まる中、
堅調に売上を伸ばしました。

当連結会計年度における日本経済は、期の後半にかけ、サブプライムローン問題に端を発したアメリカ経済に対する先行き不透明感が広がり、加えて原油価格や原材料価格の高騰により株式相場が低迷するなど、景気の減速感が見られました。そうした業界においては、石油製品や原材料などの価格高騰など企業をとりまく環境は大変厳しい状況がありました。また、相次ぐ食品偽装事件や中国産冷凍食品の問題など、消費者の食に対する安心・安全への関心はますます強くなりました。

このような状況の中、当社グループでは、第5次中期経営計画「イノベーション0808(平成17年5月～平成20年4月)」の最終年度として、全部門において変革活動を推進し、経営の効率化を行い、企業収益の向上に取り組んでまいりました。また、社らの価値観である「健康」「安心・安全」に基づき、高品質で付加価値の高い商品開発に積極的に取り組み、顧客ニーズに対応した品揃え、サービスの提供を継続してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期に比べて5.6%増の47,171百万円、経常利益は前期に比べて11.9%増の2,543百万円、当期純利益は前期に比べて13.8%増の1,322百万円と増収・増益となりました。

■第6次中期経営計画

新スローガンのもと、
第6次中期経営計画、始動。

4年後の平成24年、当社は創業40周年を迎えます。これまでに取り組んできた当社理念に基づく活動を継続することはもちろん、よりよい品質・サービスを追求し、価値観の具現化に一層励んでまいります。

ロック・フィールドの価値観

健康	安心・安全	美味しさ
鮮度	サービス	環境

そしてこのたび、当社は「創業40周年に向け、たゆまぬ全員参加の「KAIZEN」と大胆な「イノベーション」の風を起こそう!」をスローガンに、平成20年5月より第6次中期経営計画をスタートさせました。当計画におきましては、「食を育む・食を楽しむ」をテーマに、前

菜やサイドメニューであったSOZAIを主菜やメインディッシュへ、主婦やシニアが中心だったお客様層を子供も含めたファミリーへと、中食の領域を広げてまいります。さらに、夕食だけでなく朝食、昼食を含めた一日の食生活を提案できるような、持続的に発展し続ける企業へと成長することを目標としております。その基本戦略を、「高付加価値政策」「選択と集中」「投資対効果の追求」「暗黙知の形式知化」「人材の育成」といたしました。これらの実現により、創業40周年である第40期には以下の数値目標を達成できるよう鋭意努力してまいります。



近年の、過去に例のない急激な環境変化の中、お客様、株主様、取引先様、生産者様、その他仕入先様、すべてのステークホルダーの皆様から信頼される企業を目指し、改革改善に努め、強固な企業体質を醸成していきたいと考えております。株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



自然循環型の静岡ファクトリーが受賞。



静岡ファクトリーパーク



ビオトープ

ロック・フィールドは、環境を大切にされた事業活動を心がけています。当社の静岡ファクトリーでは、工場排水を浄化する電力の調達手段として、3基の風力発電を導入しています。クリーンな電力によって浄化された水は、「ビオトープ」を通じて微生物の力も借りながら自然界に戻され、メダカも生息するほど美しいせせらぎとなって敷地内をめぐり、多くの野鳥が訪れる豊かな自然環境を生み出しています。また、野菜くずは、水分を抜いて堆肥にしやすい状態にする破碎脱水機を取り入れ、廃棄物の削減に取り組んでいます。こうした取り組みが評価され、平成19年10月19日、静岡ファクトリーが「緑化優良工場関東経済産業局長賞」を受賞しました。


エコロジーへの取り組み以外にも、ファクトリーの優れた生産活動が社会で評価されています。

●平成19年12月10日
第1回「ハイ・サービス日本300選」受賞

サービス産業分野の優良事例を選定する「ハイ・サービス日本300選」に、当社が選ばれました。秒単位での生産管理や製造ラインのレイアウト変更など、製造業のノウハウを活用し、店舗でも鮮度の高い商品陳列を実現させた点が評価されました。

生産者との 二人三脚による野菜づくり

お客様に、安全でおいしいそうざいをお届けするため、ロック・フィールドでは、質と鮮度の高い野菜を供給いただける農家の方々と契約を結んでいます。もっとおいしい野菜を、もっとおいしいそうざいを届けたいという共通の思いからは、生産や備蓄における数々のこだわりやオリジナル野菜までもが誕生しています。



生産者の方々と理解し合い、 信頼を築くために

当社の購買部は、全国の畑に行き、どのような人が、どのような考えをもとに野菜をつくっているのかを目と舌で確かめています。ロック・フィールドの理念や価値観もお伝えし、共感していただける方と契約を結び、協同のモノづくりが始まります。さらに、契約農家の方には可能な限り、農閑期に当社のファクトリーやお店を見学いただき、互いの信頼を深めています。

二人三脚

5年目の、 レタス

茨城県古河市

オリジナルレタス誕生

サラダをもっときれいに、もっとおいしく。そんな思いからオリジナルレタスをつくりました。契約農家の方々はもちろん、種苗会社の方々にも協力いただいたロック・フィールドだけのオリジナル品種です。



RFチリチリ

葉先は柔らかく、茎はシャキシャキ感のあるまったく新しい食感のレタス。



RFロゼ

従来のサニーレタスよりも、赤の発色が良く、シャキッとした歯ざわり。苦味が少ないのが特徴です。



RFグリーン

艶のある黄緑色で、サラダをより美しく彩ります。葉肉が厚く、こちらも苦味が少ないレタスです。



二人三脚

8年目の、 ごぼう

宮崎県西諸県郡

ごぼうづくりの前に、土づくり

作物にとって土は生命の源です。自然界が生み出す腐葉土に近い状態を作り出すため、堆肥は自家製。さらに土壤消毒は一切行いません。

旬を大切にされた露地栽培



作物を旬の時期に収穫する「適期収穫」という考え方。露地栽培野菜へのこだわりです。

アクのない、すっきりとした風味に

毎年5月に始まる、新ごぼうのシーズン。その素晴らしい風味は、初夏の大人気商品です。



二人三脚

19年目の、 じゃがいも

北海道端野町

ゴミを出さない、コンテナ輸送

なるべくゴミを出さないために、ダンボールではなくコンテナでじゃがいもを輸送しています。工場じゃがいもを降ろしたコンテナは再び生産者のもとに返し、繰り返し使用しています。



土にやさしい、茎葉処理

収穫前に茎と葉を取り除く作業は、薬剤を使って茎葉を枯らす方法でなく、茎葉を粉碎する手法を実施。「健康的で自然な土壌を守りたい」。当社と契約農家の方々の思いは共通です。



自然を利用した、かまぐら貯蔵

年に1度しか収穫できない端野町のじゃがいもは、雪のチカラを利用して貯蔵します。電力を使わず、じゃがいもの乾燥と発芽を防ぐ貯蔵法です。



これからも、生産者とロック・フィールドの二人三脚は続きます。

第1回国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰 受賞

平成20年3月19日、農林水産省と独立行政法人農畜産業振興機構が主催する「国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰」において、当社は生産局長賞、(独)農畜産業振興機構理事長賞の2つを受賞しました。これからも、生産者の方々と協力しながら、安心・安全で、さらにおいしい国産野菜とそうざいをつくることに真摯に取り組んでいきます。



お店でチラシ配ってました。



おいしい食卓は 「安心・安全」の店舗づくりから

“おいしさ”とは安心があって初めて感じられるもの。店舗はお客様と当社をつなぐ大切な場所であり、お客様に豊かな食卓をお届けできるよう、スタッフ一人ひとりが衛生面に十分配慮しています。ここでは当社独自の「安心・安全」の店舗づくりをご紹介します。

基本は正しい手洗いから

手洗いは基本ですが最も大切なことです。新人スタッフは入店前に正しい手洗いの仕方について学び、全員で実践します。当社では、オフィス勤務のスタッフも出勤前や食事前に丁寧に手洗い・消毒を行っており、全社を挙げて衛生管理への意識を高めています。



道具は調理・清掃できっちり使い分ける

食材同士の汚染を防ぐことも食中毒を予防するうえでの重要なポイントになります。包丁、まな板、はさみといった調理器具を適宜使い分けることで徹底した管理体制をつくっています。また、洗浄・清掃場面においてもスポンジやクロスの使い分けを実施しています。



器具・設備はこまめな殺菌を

食器や調理台を殺菌するため、店舗には数種類の“衛生セット”が常備されています。対象箇所に合わせて薬剤や濃度を変えた希釈液を常備し、営業中でもこまめに殺菌・清掃を行っています。これらのセットは効果を保てるように、希釈液を決められた時間に交換します。



鮮度を保つための温度管理をしっかりと

生産、物流、販売を全て自社で行っているため、原材料の時点から徹底した温度管理をし、新鮮で安全な商品をお届けしています。店舗では1日に3回、冷蔵ケースの温度チェックを欠かさず行います。

◎他部門からのバックアップ【衛生管理】

品質保証部のスタッフが営業中の店舗を回り、直接、衛生指導を行っています。また、販売されている商品を収集・検査することで、工場から出荷された品質が、店舗で調理した後も保たれているか確認しています。

一日の締めくくりは店舗清掃

毎日閉店後1時間ほどかけて、スタッフ全員で掃除をします。陳列棚も分解し、ガラスケースも内側・外側から薬剤を変えて2重3重にしっかり磨き上げます。こうした毎日の積み重ねにより清潔を保つ、独自の管理サイクルができています。

◎他部門からのバックアップ

【月1メンテナンス】

平成11年から社内に設置した清掃専門チーム（サービスグループ）が月に1回の割合で全店舗を回り、店内を徹底的に磨き上げます。排水溝や換気扇、ガラス面や壁面など、毎日の店舗スタッフの清掃をサポートしています。

これからも、より安心なそうざいを、よりおいしい状態でお届けするため、店舗衛生の精度を上げて全社でバックアップしていきます。

詳しくはホームページへ <http://www.rockfield.co.jp/concept/index.html>





R¹F Think, food.
SOZAI 食文化を考える
ことからはじめよう。

【アール・エフ・ワン】 175店舗
(beOrganic 3店舗含む)

アール・エフ・ワンは鮮度を大切に、健康と安全にこだわったSOZAIのトータルブランド。旬の野菜は風味や栄養が豊かなだけでなく、カラダに必要なチカラを与えてくれます。

【部門概況】

定番商品の品質向上を図るとともに、サラダやフライ以外の「料理系メニュー」の展開を拡大。ライフスタイルや食のシーンにあわせた献立提案を行いました。原材料費高騰への対応として商品設計の見直しを行うほか、国産原材料の産地との取り組みを強化しました。その結果、売上高は34,030百万円となりました。

元祖 **神戸コロッケ**
素材にこだわる
元祖コロッケ専門店

【神戸コロッケ】 53店舗

生産者の方々とじゃがいもを作るところからこだわった良質なコロッケは、決して冷凍できません。風味や食感を生かした生コロッケを揚げたてで提供します。

【部門概況】

定番コロッケの素材・製法・技術の向上に努めたほか、日本全国津々浦々の地元の素材・美味しさを小サイズのコロッケにした「ニッポンコロッケ」シリーズを展開し、少しずつ試してみたいというお客様の要望に応えることで新規客層開拓に努めました。その結果、売上高は4,233百万円となりました。

VEGETERIA
Real veggie, real fresh juice.

Sustainable Days.
地球にいいこと、カラダにいいこと、
続けていこう。

【ベジテリア】 34店舗

野菜の美味しさや鮮度へのこだわりを、そうざいの枠を超えたジュース&スープという新しい形で表現していきます。

【部門概況】

「茨城のメロン」「屋久島たんかん」など厳選素材の旬ジュースや、「マンゴー&黄野菜」など野菜に果物を合わせた飲みやすいフルーツベジタブルジュースを提案しました。また新たに「12種類の野菜たっぷりマトスープ」など旬の野菜をたっぷり使ったスープも展開しました。その結果、売上高は2,322百万円となりました。





アジアフードヒストリー

【RF1 Asia】「融合」 8店舗

アジア各国の人気メニューを、スタイリッシュでヘルシーにお届けします。

【部門概況】

アジアの食文化をベースにした月替わりの麺・DON商品の展開や「美食同源」をテーマに、「健康」「安心・安全」を切り口にした付加価値の高い商品への取り組みを強化しました。その結果、売上高は1,157百万円となりました。

いとはん



この国の人、この国の食



新しい価値観の
和そうざいブランド

【いとはん】「三日坊主」 14店舗

四季折々の旬素材をつかい、健康で安心な食をお届けする和そうざいブランドです。

【部門概況】

国内産の旬の素材を使用した「京都産九条ねぎと淡路ちりめんの和サラダ」「焼筍の和サラダ」など付加価値の高い商品の導入を行うとともに、地域・立地別のニーズに対応した店舗別品揃えの強化に取り組みました。その結果、売上高は1,817百万円となりました。

そうざいや



街と暮らしの真ん中に

【そうざいや地球健康家族】 23店舗

地域に密着し、毎日ご利用いただける「そうざい専門店」として、和洋中のバラエティ豊かなメニューを提供します。

【部門概況】

旬の素材を使った商品を期間限定品として展開したほか、お客様に日常的にお買い物を楽しんでいただけるように、商品の品揃えを常に見直し、店舗としての付加価値も高めてきております。その結果、売上高は2,866百万円となりました。



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成19年4月30日現在)	当連結会計年度 (平成20年4月30日現在)
資産の部		
流動資産	9,418	10,319
固定資産	16,244	15,518
資産合計	25,663	25,838
負債の部		
流動負債	4,920	5,068
固定負債	1,457	692
負債合計	6,378	5,760
純資産の部		
株主資本	19,166	20,010
評価・換算差額等	119	66
純資産合計	19,285	20,077
負債純資産合計	25,663	25,838

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

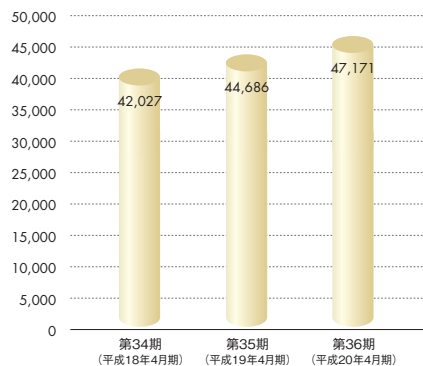
(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (自平成18年5月1日 至平成19年4月30日)	当連結会計年度 (自平成19年5月1日 至平成20年4月30日)
売上高	44,686	47,171
売上原価	19,513	20,598
売上総利益	25,172	26,573
販売費及び一般管理費	22,907	24,063
営業利益	2,265	2,509
営業外収益	47	64
営業外費用	39	30
経常利益	2,273	2,543
特別利益	35	—
特別損失	256	206
税金等調整前当期純利益	2,052	2,337
法人税、住民税及び事業税	896	1,050
法人税等調整額	△6	△35
当期純利益	1,162	1,322
営業利益率	5.1%	5.3%

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

売上高

(単位:百万円)

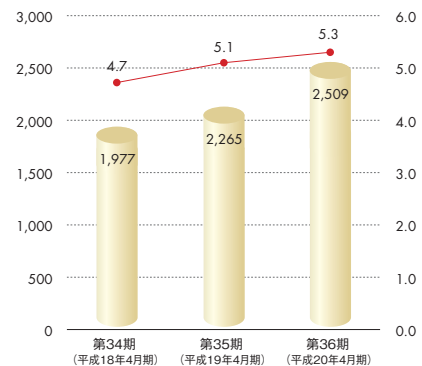


営業利益・営業利益率

(単位:百万円)

営業利益 (柱) 営業利益率 (線)

(単位:%)

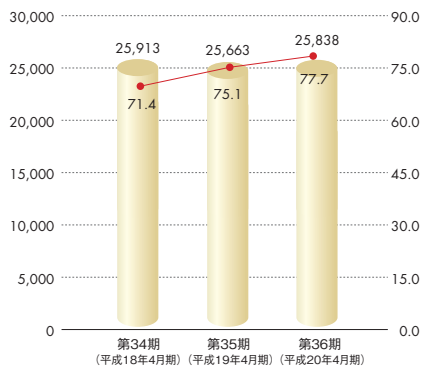


総資産・自己資本比率

(単位:百万円)

総資産 (柱) 自己資本比率 (線)

(単位:%)



決算のポイント

point
1

売上高

競合店が増加する厳しい市場環境の中、時間帯別、曜日別の品揃えやブランドミックス等の販売施策を行うとともに、新規出店や不採算店舗の整理を行った結果、売上高は前期比5.6%増の47,171百万円となりました。

point
2

営業利益

原油や原材料の価格高騰の影響もありましたが、売上高の増加や経費の抑制効果により、営業利益は2,509百万円となりました。なお、売上高、営業利益は4期連続の増収・増益となり、営業利益率も上昇となりました。

point
3

キャッシュ・フロー

当期純利益の増加や選択と集中による効率的な投資により、895百万円のキャッシュ・フロー増加となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (自平成18年5月1日 至平成19年4月30日)	当連結会計年度 (自平成19年5月1日 至平成20年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,698	3,156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,661	△987
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,482	△1,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△8
現金及び現金同等物の増減額	△444	895
現金及び現金同等物の期首残高	5,607	5,163
現金及び現金同等物の期末残高	5,163	6,058

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

剰余金の配当に関する事項

- ① 期末配当金の総額 292,196,234円
- ② 配当の原資 利益剰余金
- ③ 1株当たり期末配当金額 金22円
- ④ 基準日 平成20年4月30日
- ⑤ 効力発生日 平成20年7月30日

〔なお、平成20年1月18日に実施した中間配当金とあわせて、年間配当金は40円となります。〕

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自平成19年5月1日至平成20年4月30日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成19年4月30日 残高	5,544	5,861	7,968	△208	19,166	121	△1	119	19,285
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△478		△478				△478
当期純利益			1,322		1,322				1,322
自己株式の取得				△0	△0				△0
自己株式の処分				0	0				0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△38	△13	△52	△52
連結会計年度中の変動額合計	—	—	844	△0	844	△38	△13	△52	791
平成20年4月30日 残高	5,544	5,861	8,813	△208	20,010	82	△15	66	20,077

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



単体財務諸表(要旨)

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前事業年度 (平成19年4月30日現在)	当事業年度 (平成20年4月30日現在)
資産の部		
流動資産	9,238	10,128
固定資産	16,571	15,778
資産合計	25,810	25,906
負債の部		
流動負債	4,875	5,036
固定負債	1,457	692
負債合計	6,333	5,728
純資産の部		
株主資本	19,356	20,096
評価・換算差額等	121	82
純資産合計	19,477	20,178
負債純資産合計	25,810	25,906

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前事業年度 (自平成18年5月1日 至平成19年4月30日)	当事業年度 (自平成19年5月1日 至平成20年4月30日)
売上高	44,433	46,904
売上原価	19,375	20,434
売上総利益	25,057	26,469
販売費及び一般管理費	22,789	23,967
営業利益	2,268	2,502
営業外収益	48	68
営業外費用	35	25
経常利益	2,281	2,544
特別利益	35	—
特別損失	256	401
税引前当期純利益	2,060	2,142
法人税、住民税及び事業税	892	1,041
法人税等調整額	△19	△116
当期純利益	1,187	1,218

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 当事業年度(自平成19年5月1日至平成20年4月30日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本									評価・換算差額等		純資産 合計		
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等 合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金			利益剰余 金合計						
				配当準備 積立金	別途 積立金	固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金							
平成19年4月30日 残高	5,544	5,861	5,861	179	100	6,396	13	1,470	8,158	△208	19,356	121	121	19,477
事業年度中の変動額														
固定資産圧縮積立金の取崩						△0	0	—			—			—
剰余金の配当							△478	△478			△478			△478
当期純利益							1,218	1,218			1,218			1,218
自己株式の取得										△0	△0			△0
自己株式の処分										0	0			0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)												△38	△38	△38
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	△0	740	740	△0	739	△38	△38	701
平成20年4月30日 残高	5,544	5,861	5,861	179	100	6,396	12	2,210	8,899	△208	20,096	82	82	20,178

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



● 会社情報 (平成20年4月30日現在)

■ 会社概要

社名 株式会社ロック・フィールド
 設立 1972年6月8日
 事業内容 そうざいの製造・販売
 代表者 代表取締役社長 岩田弘三
 資本金 55億44百万円
 従業員数 1,338名
 子会社 Rockfield (California) Inc. (本社：米国カリフォルニア州)
 サンフランシスコにて店舗「DELICA rf-1」を運営
 株式会社コウベデリカテッセン
 (本社：神戸市東灘区魚崎浜町27番地39)

■ 役員 (平成20年7月29日現在)

代表取締役社長 岩田 弘三
 代表取締役専務 湯浅 勉
 常務取締役 尾崎 一郎
 取締役 垣谷 優一郎
 社外取締役 堀場 厚
 社外取締役 寺田 千代乃
 社外取締役 松村 はるみ
 常勤監査役 渡辺 哲夫
 監査役 三宅 良治
 社外監査役 阿部 良男
 社外監査役 林 義久
 社外監査役 奥田 実

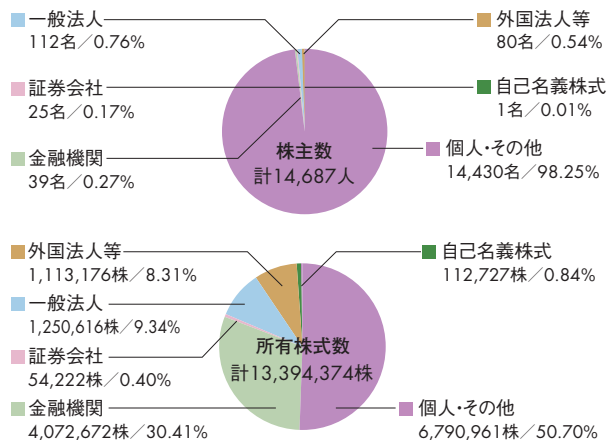
● 株式の状況 (平成20年4月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 13,394,374株
 単元株式数 100株
 株主数 14,687名

■ 大株主

株主名	持株数(株)
岩田 弘三	1,531,268
明治安田生命保険相互会社	656,300
株式会社四国銀行	621,460
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	566,100
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	305,700
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	300,000
ロック・フィールド取引先持株会	255,440
ロック・フィールド社員持株会	252,697
三菱UFJリース株式会社	241,032
岩田 夢隆	217,340

■ 所有者別分布状況



まもなく、株券が電子化されます。

平成21年1月、すべての上場会社の株券の電子化が予定されています。株券電子化にあたって、皆様の権利を保全するため、以下をご確認いただきますようお願い申し上げます。

CHECK

1

お手元(貸金庫・ご自宅等)に株券をお持ちではありませんか？

株券電子化が実施されると、株券は無効となり、「株主様のお名前、ご住所、ご所有株式等の情報」は証券会社等の金融機関の口座で電子的に管理されるようになります。

証券会社を通じて、株券を「証券保管振替機構」にお預けの株主様は、何も手続きの必要はありません。

お手元に株券をお持ちの株主様は

CHECK

2

株券はご本人名義になっていますか？

◎「ご本人名義」の株券をお手元にお持ちの場合

株券電子化後も、「株主様のお名前、ご住所、ご所有株式等の情報」は自動的に、新開設の「特別口座」にて管理されます。株主様の権利は確保されますが、「特別口座」では株式の売買はできませんので、早急にお手元の株券を証券会社の口座へ移されることをおすすめします。

◎お手元にお持ちの株券が「他人名義」だった場合

株券電子化後、他人名義で「特別口座」に記録されます。株券は無効となっていますので、株主様の権利を失う可能性があります。早急に「ご本人名義」への名義書換をお願いいたします。

※1 特別口座

「証券保管振替機構」に預けていない株主様の権利を確保するために、発行会社が開設する口座です。

名義書換のお手続きは

CHECK

3

当社株主名簿管理人、三菱UFJ信託銀行株式会社にご連絡をお願いします。

お早めに、相続・贈与・譲渡などによる名義書換のお手続きを行っていただくようお願いいたします。

【お問い合わせ先】 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)

株券電子化直前は、証券会社、株主名簿管理人等の窓口が混雑することが予想されますので、お早めにお手続きください。



●株主優待制度

当社店舗にてご利用いただける、
おそうざい券(株主優待券)を進呈いたします。

保有株式数	おそうざい券
100株以上	1,000円分
300株以上	2,000円分
500株以上	3,000円分
1,000株以上	5,000円分
5,000株以上	10,000円分

◎優待内容

毎年4月30日現在の当社株主名簿および実質株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様を対象に、保有株式数に応じて、年1回おそうざい券を進呈いたします。

◎送付時期

毎年7月下旬に、株主名簿に記載された住所へお送りいたします。



■ 単元未満株式の買増請求制度および買取請求制度のご案内

【買増請求制度について】

株式市場で売却できない100株未満の株式(単元未満株式)をご所有の場合、合わせて100株(1単元)にするのに必要な株式を当社から市場価格で買増しすることができる制度です。

【買取請求制度について】

ご所有の単元未満株式を当社に対して売却することができる制度です。当社は、市場価格で買取いたします。

いずれの手続きも、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にて承っております。手続きの詳細、書類のご請求などは同行大阪証券代行部(電話 0120-094-777)までお問い合わせください。

なお、証券保管振替制度をご利用されている場合(特定口座をご利用されている場合など)は、お取引の証券会社にお申し出ください。

■ 配当金振込制度のご案内

ご所有の株式に対する配当金(中間配当金を含む)の受領方法には、ゆうちょ銀行配当金領収証により、ゆうちょ銀行窓口で受け取る方法のほかに、ご指定の銀行預金口座への振込にて受け取る方法がございますが、より安全・確実な、銀行預金口座への振込のご指定をおすすめいたします。手続きは、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にて承っております。同封の「配当金振込指定書」にご記入・ご押印のうえ、ご郵送ください。手続きの詳細、書類のご請求などは同行大阪証券代行部(電話 0120-094-777)までお問い合わせください。



株主メモ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	7月
剰余金の配当基準日	期末 4月30日 中間 10月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村証券株式会社 全国本支店 なお、株式関係のお手続き用紙のご請求は、以下の三菱UFJ信託銀行の 電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話(通話料無料)0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公 告 方 法	電子公告(http://www.rockfield.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。



株式会社 ロック・フィールド <http://www.rockfield.co.jp/>

神戸ヘッドオフィス	〒658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町15-2	TEL.078-435-2800(代表) FAX.078-435-2805
東京オフィス	〒101-0044	東京都千代田区鍛冶町1-9-16丸石第二ビル	TEL.03-3526-6355(代表) FAX.03-3526-6356
神戸ファクトリー	〒658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町15-2	TEL.078-435-2200(代表) FAX.078-435-2210
静岡ファクトリー	〒438-0112	静岡県磐田市下野部2280	TEL.0539-62-5700(代表) FAX.0539-62-5043
玉川SPSファクトリー	〒213-0032	神奈川県川崎市高津区久地3-12-57	TEL.044-811-8171(代表) FAX.044-811-8199